


平成30年度 算数科授業の略案 (6学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
10月4日(木) 1校時	速さ	速さの表し方を考えよう
本時のねらい (4/11) ○速さを求める公式を理解し、それを適用して速さを求めることができる。 ○時速、分速、秒速の意味を理解する。		
評価規準 技 速さの表し方をもとに、速さを求める公式をつくり、速さを求めることができる。 知・理 時速、分速、秒速の意味を理解している。		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 8:25	○前の時間の振り返りをペアで伝え合ひましょう。 ・速さを比べる時は、単位量あたりの考えを使って比べる。	○前時の学習の振り返りをする。
【展開】 問題把握 課題把握 8:29 ・見通し ・シラバス ・言語わざ 自力解決 8:34 班学習 8:44 集団解決 8:50 ・全体学習 ・考察 まとめ 9:05	1 問題を読む。 新幹線のはやて号は3時間に630km走り、のぞみ号は2時間に480km走ります。どちらが速いでしょうか。 【気が付いたこと、今までと違うこと】 ・時間が出てきている。 ・速さを比べなくてはいけない。 ・単位量あたりの考えを使えるかな。 ・1時間あたりで考える。 2 課題を把握する。 速さを比べる方法を数直線、式、言葉を使って説明しよう。 ○見通しをもつ ・1時間あたりに進む道のりを求める。(道のり=全体の量) ・3時間で630kmなので、1時間あたりで比べたい。 ・2時間で480kmなので、1時間あたりで比べたい。 ・数直線を書いて考える。 ・数直線から分かることを見つける。 自力解決(10分)・全体学習(15分)・まとめ(3分)・振り返り(2分) 「キーワード(算数用語)を使って説明する。」 ○新幹線「はやて号」と「のぞみ号」が、1時間あたりに進む道のりを、数直線や言葉を使って説明する。 ・「はやて号」 $630 \div 3 = 210$ ・「のぞみ号」 $480 \div 2 = 240$ 1時間あたりに210km進む。 1時間あたりに240km進む。  A.1時間あたりに240km進む方が速いので、のぞみ号が速い。 3 班学習を行う。なぜその式になるのか考え、まとめる。 ○解き方を班で話し合い、ホワイトボードにまとめましょう。数直線も書きましょう。 ・1時間あたりに進む道のりの長い方が速いので、のぞみ号の方が速いことが分かる。 ・速さは1時間あたりに進む道のりで表すことができる。 4 まとめ ○速さを求める公式を考え、まとめましょう。 ・速さ=道のり÷時間 ○時速、分速、秒速について考えましょう。 ・時速…1時間あたりに進む道のりで表した速さ ・分速…1分あたりに進む道のりで表した速さ ・秒速…1秒あたりに進む道のりで表した速さ 速さを比べる方法は、1時間あたりに進む道のりを求めることで、比べることができる。速さ=道のり÷時間の公式を使うことができる。	速さ 時間 道のり 距離 数直線 全体の量 単位あたり量 1あたり量 ・ハンドサインチェックを行い、自力解決ができるようにする。 ・自力解決が厳しい児童には、友達の発言をヒントに考えるように伝える。 技 速さの表し方をもとに、速さを求める公式をつくり、速さを求めることができる。 ・ホワイトボードに数直線が書けるようにさせる。 ・数直線を使って、説明できるようにさせる。 このことから ~を使って ~ですよね ・キーワードを使ってまとめをかけるようにする。 知・理 時速、分速、秒速の意味を理解している。
【終末】 ふりかえり 9:08	6 学習したことを振り返る。	